



幹事校会長の挨拶

千葉大学 加納博文

昨年10月25日、千葉大学にて協議会総会が開催され、本協議会の組織改革案について議決されました。本案を提案するにあたりましては、幹事会と各委員会の皆様にご多大なご協力をいただきました。改めてお礼申し上げる次第です。またその際、次期の幹事会を構成する会長、副会長ほか幹事の皆様を選出し、来年度に向けた準備を行うこととなりました。この準備会は「機器・分析センタープレ幹事会」として、すでに会議が開催されていることを確認させていただきました。皆様におかれましては、本協議会の発展のためにご尽力いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

次期会長の挨拶

横浜国立大学 栗原靖之

年が明け、年度末に向かってお忙しいことと思えます。昨年の総会で協議会が次のステージ向かうための新体制をお認めいただいたこと、そして次期会長に選出いただいたことにお礼申し上げます。

今年は、協議会がリスタートする大事な一年になります。すでにプレ幹事会として新年度に向けての活動を開始するとともに、委員会委員の選出をしているところです。良い方向に力強く歩みだすには皆さんの力が必要です。各大学で様々な立場のセンター運営の形があります。できるだけ多くの声を吸い上げるために、これまで協議会運営にかかわっていなかった方を含めて、積極的に委員への参加をお願いいたします。

皆さんが日々抱えている様々な課題を解決するために、協議会は強くなければいけません。それには、協議会が一枚岩になるだけでなく、他の関連団体との連携を深めていくことが必要です。このニュースレターを通して、そういった活動を皆さんにお知らせしますので、ご意見ご要望をお聞かせください。

本年もよろしくお願いいたします。

次期委員長挨拶

事業検討委員会

鳥取大学 森本 稔

総会を直前にしたある日の夕方、突然、栗原次期会長から電話がありました。「次期事業検討委員長をお願いしたい」と。事業検討委員会は、総会および幹事会の諮問に基づき今後の協議会の在り方や進むべき方向性に関わる諸課題について調査・検討するという重要な役割があります。その委員長に「私で務まるのか？」と思いつつも、最後には「承知しました」と応えていました。気が動転していたのか、その間、どんな話をしたのかの記憶が飛んでいます。このように思いがけず事業検討委員長という重責を担うことになりました。微力ではありますが、皆様のご協力を仰ぎながら委員会運営に尽力して参ります。

昨年末よりプレ幹事会が始まりました。早速、栗原次期会長より、「会員資格の拡大」、「財政基盤の確立」、「国や関係団体との連携」などの重要課題を検討するよう諮問されています。委員会メンバーの人はこれからですが、様々な立場・視点からこれらの課題について検討していただき、検討結果を幹事会に、さらに皆様に提示していきたいと考えています。

技術サポート人材検討委員会

北海道大学 岡 征子

昨年は、「技術職員」というキーワードが、研究力向上・強化を議論する国の各種委員会等において多々取り上げられた一年でした。かねてより、機器・分析センターでは技術職員が実働の要所に配置されており、その活躍が各大学におけるミッション遂行の動力のひとつとなってきましたが、一方で、人員確保や育成、キャリアパスの不透明さなどの課題山積であることが、これまでの協議会報告や技術職員会議報告、会員へのアンケート集計に示されており、活躍促進の道は一筋縄では行かないこともわかっています。

現在準備中の新生委員会には、すでに次期会長からいくつかの宿題をいただいているところですが、教員、技術職員、事務職員、URA 等が一同に介する協議会の利点を活かしながら、総会参加者の半数を占める技術サポート人材に関する諸活動に尽力して参りますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員会

東京農工大学 野口恵一

協議会が大きく変わろうとしています。来年度に向けて新幹事会や新小委員会では準備を開始しましたが、開かれた幹事会を目指し今後の活動状況を会員校の皆様に報告するために、ニュースレターを発行致します。協議会改革に関する今後の議論の進捗状況にもよりますが、年

お知らせ

1. 次回総会と技術職員会議の日程（第1報）

次回の協議会総会と技術職員会議の概要をお知らせします。

開催日：令和二年10月16日(金)

午前 技術職員会議

午後 協議会総会

夕方 懇親会

場所：横浜崎陽軒本店（横浜駅東口徒歩1分）

詳細は決定次第、ニュースレターとホームページを通してお知らせしますのでふるってご参加下さい。

令和二年度総会、技術職員会議開催校

横浜国立大学

2. 協議会シンボルマーク募集

協議会の活動をイメージするシンボルマークを募集いたします。

このニュースレターのタイトル左端に示したシンボル案は「産官学の〇とそれを支えるセンターというイメージ」です。このシンボルマーク案に対するご意見やもっとイケてるシンボルマークのご提案がありましたら、幹事会まで是非お寄せ下さい。

4回程度の発行を予定しています。協議会ホームページやメーリングリストを通じて幹事会議事録等の情報発信も行いますので併せてご覧頂き、幹事会の活動に対してご意見やご要望をお寄せ下さい。また、ニュースレターやホームページで発信すべき情報に関するご意見をお待ちしております。

昨年の総会開催後に行ったアンケートでは79件の回答を頂きました。お忙しいところ貴重なご意見をありがとうございました。皆様のご意見に対する現幹事会からのコメントを含めた集計結果は近日中にご報告致します。今後もアンケート等を通じてご意見を伺う機会があると思います。できるだけご負担とならないように致しますので、ご協力のほど宜しくようお願い申し上げます。

3. 協議会小委員会委員募集

協議会では各小委員会の委員を募集しています。小委員会の活動にご協力頂ける方、ご興味がある方は、是非、次年度小委員会委員長に電子メールでご応募下さい。締め切りは2020年1月31日です。

【応募先】

事業検討委員会

鳥取大・森本 m-morimoto@tottori-u.ac.jp

技術サポート人材検討委員会

北海道大・岡 seiko@gfc.hokudai.ac.jp

広報委員会

農工大・野口 knoguchi@cc.tuat.ac.jp

国立大学法人機器・分析センター協議会 ニュースレター No.1

発行日：2020年1月23日

編集：国立大学法人機器・分析センター協議会
広報委員会

発行：国立大学法人機器・分析センター協議会

連絡先：kikikyogikai@gmail.com

Website:

<https://sites.google.com/site/kikikyogikai/>

メーリングリスト：kiki_ml@googlegroups.com